

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	<専>京都建築大学校
設置者名	学校法人 二本松学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	建築科	夜・通信	61 単位	6 単位	
	建築学科	夜・通信	35 単位	12 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.kasd.ac.jp/shien/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	<専>京都建築大学校
設置者名	学校法人 二本松学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

二本松学院ホームページ
<https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前京都府宮津市長	2022年11月14日 ～ 2026年11月13日	学院全体の業務及び財務全般
非常勤	二本松学院キャリアサポートセンター長	2022年11月14日 ～ 2026年11月13日	学院全体の業務及び財務全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	<専>京都建築大学校
設置者名	学校法人 二本松学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 開講している授業科目については、シラバスにて授業形態(講義・実習など)、到達目標、各回の授業内容、成績評価の方法などをまとめて刊行物の形で公表している。またシラバスとは別に、学科ごとに発行し学生全員に配布する学生要覧においても、各授業の内容やカリキュラムについて紹介し、周知している。	
授業計画書の公表方法	刊行物(シラバス・学生要覧)にて公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習成果の評価及び単位認定については、各授業で定めた評価方法で行っている。それぞれの授業形態によって前後期の期末テストの結果や成果物、またレポート提出などで評価し、単位認定を行っている。また課題のある学生には教務部より個別指導や担任との面談などで、対応を行っている。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価については、成績を総合的に点数化する『指数』を用いて数値に置きかえた評価を行ってきた。各学年ごとに指数による順位付けを行うことにより、成績の分布状況の把握が可能となっている。 また成績評価に関する規程は、在校生全員に配布する学生要覧にて確認することができるようにしている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.kasd.ac.jp/shien/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 京都建築大学校では、所定の期間在学し学則に定めた授業科目を履修し、「即戦力として社会に通用する人材の育成」の教育理念のもと建築に関する技術や知識を修得した者を卒業としている。また卒業認定には卒業認定会議を行い、複数の教員で合議し適切に実施をしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.kasd.ac.jp/shien/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	<専>京都建築大学校
設置者名	学校法人 二本松学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/r3
収支計算書又は損益計算書	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/r3
財産目録	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/r3
事業報告書	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/r3
監事による監査報告（書）	https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/img/nihonmatsu/r3

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	900 単位時間	150 単位時間	1,020 単位時間	0 単位時間	60 単位時間
		2,130 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
960人		794人	0人	32人	22人	54人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 開講している授業科目については、シラバスにて授業形態（講義・実習など）、到達目標、各回の授業内容、成績評価の方法などをまとめて刊行物の形で公表している。またシラバスとは別に、学科ごとに発行し学生全員に配布する学生要覧においても、各授業の内容やカリキュラムについて紹介し、周知している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学習成果の評価及び単位認定については、各授業で定めた評価方法で行っている。それぞれの授業形態によって前後期の期末テストの結果や成果物、またレポート提出などで評価し、単位認定を行っている。また課題のある学生には教務部より個別指導や担任との面談などで、対応を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 京都建築大学校では、所定の期間在学し学則に定めた授業科目を履修し、「即戦力として社会に通用する人材の育成」の教育理念のもと建築に関する技術や知識を修得した者を卒業としている。また卒業認定には卒業認定会議を行い、複数の教員で合議し適切に実施をしている。

学修支援等 (概要) クラス担任制を敷き、学業や生活面で指導をしやすい環境を整えている。 また、担任と保護者の連携指導にも努めている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
519人 (100%)	452人 (87%)	19人 (3.7%)	48人 (9.3%)
(主な就職、業界等) 総合建設業、住宅メーカー、リフォーム会社、工務店、設計事務所、設備会社、積算会社、デザイン事務所、不動産業界、インテリア業界、ディスプレイ業界、建材メーカー、建築確認検査機構、公務員			
(就職指導内容) 就職ガイダンス実施（一般試験対策、企業研究の仕方、履歴書、エントリーシート対策、ポートフォリオ対策） 校内会社説明会実施、個人カルテによる個別指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級建築施工管理技術検定試験、2級インテリア設計士、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1,034人	59人	5.7%
(中途退学の主な理由) 疾病や経済面などやむを得ない理由が多くを占めている。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学期ごとの出欠状況を保護者へ通達している。また担任は相談の窓口としての役割もあり、必要に応じて面談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,420 単位時間	1,770 単位時間	810 単位時間	1,980 単位時間	0 単位時間	60 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
400人		199人	0人	10人	15人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>開講している授業科目については、シラバスにて授業形態（講義・実習など）、到達目標、各回の授業内容、成績評価の方法などをまとめて刊行物の形で公表している。またシラバスとは別に、学科ごとに発行し学生全員に配布する学生要覧においても、各授業の内容やカリキュラムについて紹介し、周知している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習成果の評価及び単位認定については、各授業で定めた評価方法で行っている。それぞれの授業形態によって前後期の期末テストの結果や成果物、またレポート提出などで評価し、単位認定を行っている。また課題のある学生には教務部より個別指導や担任との面談などで、対応を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>京都建築大学校では、所定の期間在学し学則に定めた授業科目を履修し、「即戦力として社会に通用する人材の育成」の教育理念のもと建築に関する技術や知識を修得した者を卒業としている。また卒業認定には卒業認定会議を行い、複数の教員で合議し適切に実施をしている。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制を敷き、学業や生活面で指導をしやすい環境を整えている。また、担任と保護者の連携指導にも努めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77人 (100%)	0人 (0%)	62人 (81%)	15人 (19%)
（主な就職、業界等）総合建設業、住宅メーカー、リフォーム会社、工務店、設計事務所、設備会社、積算会社、デザイン事務所、不動産業界、インテリア業界、ディスプレイ業界、建材メーカー、建築確認検査機構、公務員			
（就職指導内容）就職ガイダンス実施（一般試験対策、企業研究の仕方、履歴書、エントリーシート対策、ポートフォリオ対策） 校内会社説明会実施、個人カルテによる個別指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 一級建築士、二級建築士、木造建築士、インテリアプランナー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
159人	1人	0.6%
（中途退学の主な理由） 疾病や経済面などやむを得ない理由が多くを占めている。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任が学期ごとの出欠状況を保護者へ通達している。また担任は相談の窓口としての役割もあり、必要に応じて面談を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築科	100,000 円	1,080,000 円	90,000 円	
建築学科	100,000 円	1,180,000 円	90,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyobi.ac.jp/nihonmatsu/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校運営について行った自己評価を外部の客観的な立場から再評価し、改善に向け専門的な助言を行うものである。学校関係者評価委員会は、学生が就職する企業、卒業生、保護者、教育関係者等から選定し、公平で中立的な評価を行うよう配慮している。年2回委員会を開催。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
放送大学 京都学習センター	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	業界団体元役職員
(一社) 日本インテリア設計士協会	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	業界団体役職員
京都建築大学校 卒業生の母	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	卒業生保護者
伏木道雄建築設計事務所	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
アサダデザイン事務所	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
京都建築大学校 卒業生	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kasd.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kasd.ac.jp/
修学支援 (任意記載事項)